

ローリングストーンズが聞こえて来たのか！？

まさか、金村の抜けた穴とは言え、序盤戦から中4日で来るとは思わなかった。

1勝1敗で迎えたロッテ3連戦。負ければ借金生活を余儀なくされる状況で、石橋を叩いて渡ったあのヒルマン監督がギャンブルを冒すはずもない。ローテーションを人一倍重んじるアメリカ人監督が、それを前倒して勝ちにこだわったのだ。戸惑いつつも、江尻の登板に内心ホッとする思いだった。

4月23日、江尻の登板を知ったのは他球場の途中経過から。楽天の中継から急いでチャンネルを切り替えたのが、3回表ロッテの攻撃からである。2回裏にセギノール、新庄の連続アーチで2対0とファイターズがリードした場面だった。

1アウトから8番大松に1塁横を痛烈に破られる。これが初めて許したヒットだと実況が伝えてきた。2ベースヒット。9番今江の当たりも痛烈なセンターライナー。新庄の好捕でヒット一本を不意にさせる。1番に選って西岡の当たりも更に低いライナーとなって新庄を襲う。突っ込んできた新庄が間髪を容れずグラブで掬い上げた。

3回裏、新庄のタイムリーヒットでハム3点目をゲット。

4回表、1アウトから3番フランコに7球を費やした拳句、四球。4番は指名打者里崎。江尻の崩れる兆候が見え隠れする。が、内角のシュートを詰ませ4 - 6 - 3のダブルプレーで切り抜けた。

江尻の球種は、この新球シュートを加えて6つ。打者がロシアンルーレットの銃口を宛がうにはおアツラエ向きの数である。そのシュートボールの威力だが、ナチュラル気味のカミソリ系ではない。右打者の内懐を突き、左打者の外角に逃げる曲球のイメージだ。球速にして130キロ台後半と言ったところか。江尻、なかなかの技巧派でもある。

6回表、8番大松に9球粘られた末にライト前に運ばれる。この日二本目のヒットを又大松に許してしまった。しかもノーアウトのランナーだ。今度はハッキリと嫌な予感が過った。9番今江のカウントも魔の both 2。が、江尻慌てない。右狙いの今江にしめたと思わせる外角球で勝負に出た。気迫勝ち。これも絵に画いたような4 - 6 - 3のダブルプレーだ。続く1番西岡を三球三振に屠った最後の球は142キロのストレート。大した速さではない。気持ちを含めてズバリ内角に配したのが功を奏した。

7回表、2番堀のあたりは、新庄がフェンス際まで下がった大きなセンターフライ。続く3番フランコに左中間の2ベースを放たれ、これでお役御免となった。悔やまれるのは替わった武田が打たれ、失点1がついてしまったことだ。

ベンチに下がった江尻。いつになく満足の表情。この日は6回1 / 3を投げて、85球、被安打3、奮三振3、失点1と言う内容だった。勿論3勝目をゲット。

だが、江尻。耳に響いていた「Satisfaction」の怪しげなメロディに惑わされるな。次の相手はソフトバンクだ。30日にはズレータが戻ってくるぞ。

平成18年4月23日 斉藤 茂